情報活用型授業をつくるヒント集　Ver.2.5

これらの工夫点をすべていかす必要はありません。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 項目 | 収集 | 編集 | 発信 |
| 導    　入 | ア.意欲・関心を高める | | | |
| ア-1　調べてみたくなる現象や出来事を見て、課題意識を持つ | 〇 |  |  |
| ア-2　作品例やその反響などを伝えて、やってみたい気持ちを持つ |  |  | 〇 |
| イ.目標をつかむ | | | |
| イ-1　思考・判断・表現力に関する学習課題を設定する | 〇 | 〇 | 〇 |
| イ-2　伝える相手を明確にした学習課題を設定する |  |  | 〇 |
| ウ.既習事項や経験を確かめる |  |  |  |
| ウ-1　課題解決に必要な既習の知識や技能、これまでの学習経過を確かめる | 〇 | 〇 | 〇 |
| ウ-2　学校や生活での経験を思い出すような映像や資料を見る | 〇 |  |  |
| 展    　開 | エ.取り扱う情報 | | | |
| エ-1　映像、新聞、統計資料、インタビューなど、読み解き甲斐のある情報を使う  　　エ-2　視点や立場が異なる情報や、グループごとに異なる情報を用意する  　　エ-3　自分たちや他のグループが収集、整理、表現した情報を対象化する | 〇  〇 | 〇  〇  〇 | 〇 |
| オ.情報の扱い方の指導 | | | |
| オ-1　情報を収集、整理、表現する目的、観点、判断基準をつかむ  　　オ-2　情報を収集、整理、表現する際の手段を選んだり、特性を比較する  　　オ-3　情報を収集、整理、表現する際にワークシートやノートの型を活用する | 〇  〇  〇 | 〇  〇  〇 | 〇  〇  〇 |
| カ.情報活用を伴った学習活動 | | | |
| カ-1　情報手段の特性や留意点を意識して情報を収集する  　　カ-2　カードや付せん、シンキングツール、表やグラフを用いて情報を整理する  　　カ-3　受け手の状況や情報モラルを意識して伝え方を工夫する | 〇  〇 | 〇 | 〇  〇 |
| キ.情報活用を深める・高め合う | | | |
| キ-1　見つけた情報を報告しあい、課題解決に役立つかどうか見極める  　　キ-2　多様な情報や意見を比較・調整したり、つなげて思考して課題を解決する  　　キ-3　情報の伝わり方や情報の受け手を意識して、構成や表現を検討する | 〇 | 〇 | 〇 |
| まとめ | ク.自己・相互評価する・他者に伝える | | | |
| ク-1　自己評価・相互評価を行い、情報の活用プロセスを振り返る  　　ク-2　他学年・保護者など必然性のある相手に伝え、伝わったかどうか確かめる | 〇 | 〇 | 〇  〇 |
| ケ.クラスでまとめる、発展課題を見つける | | | |
| ケ-1　クラスで話し合い、分かったことや解決策の共通理解を図る  　　ケ-2　次の単元や家庭学習につながるような問題意識をもつ | 〇  〇 | 〇  〇 | 〇  〇 |